

新年おめでとうございます。

皆様、お元気に新たな年を迎えられましたか？

平成も30年を数えました。45歳で迎えた新たな年号でした。当時は、わき目も振らずに仕事に励むのが、当たり前生き方でしたが、最近は「…過ぎないこと」が良いことと言われ、少し身を引いた状態が良いのでは、と言われているようですね。



核実験やミサイルの発射等で、ねんがら年中騒ぎを醸し出して来た北朝鮮というより、トランプ大統領曰く「ちびのロケットマン」の行為は、普通の人間では到底考えられないものであり、まさに狂気の沙汰です。どうするとあのような人物が育つのか。わざわざスイスで学んできたとの報道もありますが…。何を学んで帰国したのでしょうか？実験の仕様も無いでしょうが、新年ですので、創生させる実験等出来るならしたいものですね。このことは、初笑いになりますか？歴史を紐解くと多かれ少なかれ同じ構図であると考えられます。多くの犠牲の上に立った者が後に英雄と崇たてられる例には暇がないようですよ。こんな事が常なのかな。新年の愚痴でした。



新年の実践と覚悟を述べましょう。よわい70年余りを振りかえり、会得したこと。それは、人を元気付け、傷つけないこと、出来れば笑いを持って過ごして頂けるように誘導出来ることに尽きるのではないかと確信しつつ有ります。

実践出来るように努力します。

お互い無理をしないで、“わろてんか”で、新年をスタートですよ!!

平成30年 元旦 院長 清治 邦夫